

としよかん

106

2022.10.1

大阪経済大学図書館報



CONTENTS

特集

寒い季節に読んで欲しい本

- 第22回 ビブリオバトル ● 私のおすすめ多読本 vol.2
- 今村翔吾のまつり旅 in 大阪経済大学 ● 編集後記

うーぼんNEWS

図書館公式
Twitter開設の
お知らせ



寒い季節に 読んで欲しい本



これから日に日に太陽が沈むのが早くなり、寒くなっていきます。
この時期こそ、本を通じて今の自分を考えたり、知らなかった世界に触れたり、
キャリアを考えたりするのに、うってつけな季節なのかもしれません。
今回は、図書館学生サポーターが寒い季節におすすめしたい本をピックアップしてみました。

C.Uさん オススメ!

箱庭図書館

乙一 著



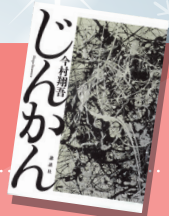
この本は読者のボツ原稿を乙一がリメイクすることで生まれた短編集です。私が中学生の時に出会い、小説を読むきっかけになった本でもあるので、思い入れが深いです。それぞれの話はどれも雰囲気が出ているにも関わらず、同じ登場人物が出ていたり、繋がっていたりする部分もあるので、短編集でも一つの作品として読むことができます。色々なテイストの物語があり、なかでも「ホワイト・ステップ」は雪面を通じて人々が繋がる、心温まる不思議なお話なので、寒い時期にお勧めの一冊です。

請求番号:913.6/Ots 資料ID:50062284

AKさん オススメ!

じんかん

今村翔吾 著



幕代の悪人知られる松永久秀ですが、その背景にどのような思惑があったのでしょうか。「人間」とは何なのでしょう。これは織田信長に対して二度の謀反を企てた松永久秀の壮絶な半生を描いた歴史小説です。仲間との絆を思わせる胸熱な場面がいくつもあり、登場人物たちもそれぞれに特徴があって覚えやすく、正直、歴史が苦手な私でも読みやすく、好きになった作品です。これから寒くなる季節、暖房の効いた家にこもることも多くなると思います。そんな時には是非この本を読んで心を温めてください。

請求番号:913.6/Ima 資料ID:50097935

FKさん オススメ!

星空の歩き方

夜空に秘められた物語を探す、
とっておきのヒント

林次 著



冬といえば、空気が乾燥し星がきれに見える季節です。とはいっても、外は寒くてできることなら家にいたいし、大阪ではなかなかきれいに星が見える場所ありませんよね。そこでおすすめしたいのがこの本です。この本は、天体写真家の林次さんが撮影した写真と共に、短い文章によって新しい星空の楽しみ方が書かれています。さまざまな美しい星空が楽しむことができ、寒い外に出ることなく、読むだけでまるでプラネタリウムに来たかのような感覚になれるオススメの一冊です!

請求番号:443/Hay 資料ID:50053041

YSさん オススメ!

Z世代

若者はなゼインスタ・TikTokに
ハマるのか?

原田曜平 著



秋になると旅行に行ったり、おいしいものを食べる機会が増えることでしょう。そして、その時間をインスタ・TikTok等に投稿して共有することが若者を中心に広がっています。では、なぜ自分や友達との楽しい時間を共有したがるのでしょうか。また、なぜ投稿した動画や写真をバズらせたいのでしょうか。投稿し、視聴回数・いいねの数や称賛のコメントなどを多くもらうことで承認してほしいのでしょうか?皆さんはなゼインスタ・TikTokにハマったのですか?この本を通して一度真剣に考えてみてはいかでしょうか。

請求番号:367.6/Har 資料ID:50099247

MTさんオススメ!

ペンギンの世界

上田一生 著



寒くなり始めるこの季節、とても寒い場所に生息するペンギンたちの話です。この本では筆者のペンギン調査の体験、ペンギンの生態、祖先などペンギンのことが詳しく書かれています。特にペンギンたちを守ろうとする人々や、寒さに耐えながら子育てをするペンギンたちの話は心が温かくなります。こんな時期だからこそぜひ読んでみてください。

請求番号:S1849/488.66 資料ID:50024804

S.Nさんオススメ!

幸村を討て

今村翔吾 著



戦国時代の武将という皆さんは誰を思い浮かべますか…?今回紹介する本は、「真田幸村」を主人公とした小説です。本を手にする前は、「何故主人公が真田幸村なのか?」と疑問に思っていたましたが、読み進めると幸村の凄さや行動力に驚かされます。また、この本を読んで、様々な武将について知ることが出来て、武将はもちろん、歴史についてももっと知りたいと思いました。年末年始など家にいる時間が増える中で、じっくり読み込める一冊になること間違いなしです。

請求番号:913.6/Ima 資料ID:50103378

KWさんオススメ!

俺ではない炎上

浅倉秋成 著



季節は冬。主人公の泰介は、Twitter上で何者かによって女子大生殺人犯に仕立て上げられる。それは瞬間に拡散され炎上。アカウント持ち主である彼の個人情報特定され、生活と人間関係は崩れていく。事件の犯人として追われる立場となった彼の逃走劇はどうなるのか。同時に描かれる現代のネット社会に通ずるようなリアルなSNSの様子にゾツとして、見え方が変わるかもしれません。真犯人は誰なのか、目的は何なのか、誰が悪いのか。最後まで予想を裏切られる緊張感ある展開、ぜひ読んでほしい一冊です。

請求番号:913.6/Asa 資料ID:50104047

YNさんオススメ!

ゼロからはじめるITパスポートの教科書

改訂第7版

滝口直樹 著



寒い季節、外に出ることが憚られますよね。暖房のせいもあり乾燥しやすく、水分不足で感染症も患い易くなり、外ではなく家の中でできることを探し始める人もいると思います。今回はそんな人におすすめの本を紹介します。このITパスポートという資格は、情報処理の技能などを計る国家資格で、合格率の高さから考えて、そこまで難易度の高い国家資格ではありません。寒い時期、この本を片手に暖房の効いた家や図書館でITパスポートについて学び、資格取得にチャレンジしてみても?

請求番号:情 資料ID:80023437

KRさんオススメ!

おおかみこどもの雨と雪

細田守 著



おおかみこもとして生まれた姉弟が自身の生き方について考え成長していくお話です。活発で何事も恐れない姉・雪と、内気で怖がりな弟・雨は人間として生きるのか、おおかみとして生きるのかという選択を強いられます。映画化もしているので、映画を観たことがある人は読みやすく感じるとと思います。家族3人で積もった雪にダイブするシーンは、冬に体験してみたい憧れのシーンです。姉弟のために頑張るお母さんの愛情に心があたたかくなると思います。映画を観た人もそうでない人も読んでほしいです。

請求番号:X1674/913.6 資料ID:50067293



第22回

BIBLIO BATTLE ビブリオバトル



第22回ビブリオバトルを、2022年6月10日(金)3限目に開催しました。コロナのため2020年度以降オンラインで開催してきましたが、今回は久々に対面での開催となりました。また初の試みとして、オンラインでも観覧できるよう、Zoomウェビナーでの配信も行いました。今回は、初出場の学生と過去のチャンプとのバトルとなりました。小説、経済の本、ビジネス書、写真集と幅広くかつ魅力的な5冊が紹介され、チャンプ本に選ばれるのはどの本か、全く読めない展開となりました。

ビブリオ
バトル
とは？

- 1 発表者(パトラー)が他の人に勧めたい本を持って集まる
- 2 順番に一人5分間で本を紹介する
- 3 2~3分間のディスカッションタイム
- 4 最後に「どの本が一番読みたくなかったか」を観客が投票で決める



第22回
ビブリオバトルチャンプ
経済学部3回生
中谷 省太さん



発表本

『あの夏が飽和する。』
カンザキオリ 著

1年生の夏以来、2年ぶりにチャンプをとることができて本当に嬉しく思います。対面での参加は初めてで緊張しましたが、発表が始まるとあっという間に5分間が過ぎました。今回紹介した本は、自分の好きな作曲家の小説で、今までの中でもかなり思い入れのある一冊でした。「読了後の衝撃を多くの人に届けたい」という思いで、発表の構成を考えたことが特に印象に残っています。また参加の機会があれば、次もチャンプになれるように頑張りたいです。

★ 参加した学生サポーターの感想 ★

前回のビブリオバトルでは裏方で参加だったけれど、今回は司会という表に出る役割だったので、前回とは比べ物にならないぐらい緊張した。そして、今回は前回とは異なり対面での開催であったので、オンラインでは伝えるのが難しいジェスチャーなどもあり、臨場感もあって発表者の方々の熱意が身に染みて感じられた。自分は発表することに自信がないので発表者にはなれないが、今後も裏方や司会などでビブリオバトルに関わっていきたい。

YN(司会)

ここ2年はオンラインで行っていましたが今回のビブリオバトルは久しぶりに対面で行いました。私にとっては初めての対面でのビブリオバトルでしたのでどんな感じののかなとワクワクしました!そして迎えた本番の日は、パトラーたちの本に対する思いがすごく伝わりました。これは対面でも味わうことができないものであると思いました。今後も可能であれば(コロナウィルス次第ですが)対面でのビブリオバトルが見たいです!

MU(タイマー)



今村翔吾の まつり旅

in 大阪経済大学

直木賞作家・
今村翔吾が
楽しく全国を
巡る旅。



7月8日(金)に直木賞作家・今村翔吾さんの「今村翔吾のまつり旅 in 大阪経済大学」が本学D館で開催され、図書館学生サポーターも参加しました。トークセッションでは、図書館学生サポーターのたくさんの質問に丁寧に答えられました。終了後、今村翔吾さんと一緒に旅するワゴン車にメッセージを書き込み、旅を続ける今村翔吾さんを観覧者全員でお見送りしました。

参加した図書館学生サポーターの感想

今村さんのトークセッションへの参加は、私にとって大きな刺激になりました。当日の会場は終始賑やかな雰囲気、非常に楽しく、貴重な時間でした。今村さんの体験談は非常に深く、心に刺さるような素晴らしい話でした。印象に残っているのが、「行動が思考を生む」という言葉です。さまざまな経験をしてきた今村さんだからこそ説得力があり、改めて行動力の大切さを身に染みて痛感しました。

(N.T)

今回、小説を通してしか関わることのなかった今村先生と直接対面して、小説を書き始めたきっかけから日常生活に関することまで様々なことを知ることができ、とても楽しかったです。まつり旅の前日までは、小説家によるトークショーなので堅苦しく難しい話をするのかと緊張していましたが、実際に話を聞いてみると話が面白くとても親しみやすい方で、こんな人があの歴史小説を書いているのかとギャップに驚きました。

(八島陸)

うーぽん
NEWS



大阪経済大学図書館公式

注目

Twitter開設のお知らせ

ついに、大阪経済大学図書館の公式Twitterが開設されました。目撃者の証言によりますと、「投稿の内容は新着図書やイベント紹介など図書館に関することから、学生サポーターの日常など図書館に関しないことまで幅広く投稿されていた」とのことです。図書館は「アカウントをまだフォローしていない人は、ぜひしてほしい」と述べました。今後の動向に目が離せません。以上、うーぽんがお伝えいたしました。

フォロー
してね!





私のおすすめ多読本 vol.2



今回は、Usborne First ReadingシリーズのHow Zebras Got Their Stripesを紹介します。この本はアフリカの民話を子供向けに書き直したもので、動物がいろいろ出てきます。中には、なじみのない動物も登場しますが、本の最初のページに動物の紹介がありますので、読む前に確認すると理解しやすくなります。題名が示すように、シマウマの縞模様はどうやってついたのかというお話ですが、びっくりするようなオチを楽しんでください。このUsborneシリーズは、ハードカバーで装丁も凝っていて、手に取るといかにも英語の本!と実感できるところも魅力的です。



How Zebras Got Their Stripes

YL0.4 総語数 240語
多読に少し慣れてきた初心者向け
CDなどの音声はありません。

請求番号: PB2535/837

元のシマウマはこんな姿だった!?▶



多読・多聴のヒント!

頭の中で日本語に訳すことなく2分30秒くらいで読み終えられたらOKです。なお、総語数250語前後の本から次にレベルアップする際は十分にリーディングスタミナをつけておく必要があります。まずは、この長さの本を30-50冊読んでみましょう。集中して読み終えるのが全く苦にならなくなれば、総語数300語以内の本に進みましょう。

経済学部教員 吉田 弘子

編集後記

半年を振り返ると、ビブリオバトルの運営や直木賞作家の今村さんとのトークセッションなどの活動を通して、これまでの中でも特に濃い時間を過ごすことができました。対面での授業も本格化し、今更ながらやっと大学生であることを実感しています。(KW)

今回は本の紹介に加えて、ビブリオバトルの感想と、2つの原稿を書く形に関わった。これといって特別なことは書けなかったが、今後学生サポーターとして館報に携わるにあたって、濃い内容が書けるよう精進していきたい。(YN)

今回は本の紹介を書きました。人生で初めて歴史小説を読みましたが、とてもおもしろくて、今まで毛嫌いしていたのが少し勿体なかったですね。あと半年足らずで卒業となり、図書館報作成に関わるのもラスト回となります。最後まで頑張りますので、どうぞよろしくお願いします!(AK)

今回、紹介する本を選ぶにあたって、自分自身があまり読書をするほうではないため、同じような人にも読みやすい本を選ぶように心がけました。この図書館報が本との出会いのきっかけになれば幸いです。(FK)

今回、今村さんのトークセッションについて書かせていただきました。これを読んでくださった皆さんに少しでも今村さんを知っていただければ嬉しい限りです。私自身もこの機会に、今村さんの作品にもっと触れてみようと思われました。(NT)

今回初めて本の紹介文を書きました。初めての経験だったので、どのように書くかとても悩みましたが楽しかったです。自分の書いた文章が図書館報として残ることが嬉しいです。これからも学生サポーターの仕事に積極的に取り組んでいきたいです。(KR)

今村翔吾のまつり旅にあたり、今回人生で初めて歴史小説を読みました。難しいイメージがあまり読まないようにしてしまいましたがとても面白く、今までもったいないことをしていたなと思いました。これからは今まで苦手意識を持っていた本にも挑戦していきたいです。(八島陸)

新メンバーが増えて、図書館の公式Twitterが始まるなど新しい風が生まれています。今回からビブリオバトルの運営を3回生以下のメンバーが担当するなど、後輩が頼もしくなりました。残すところ卒業まで半年もない状況ですが、最後までこの活動に貢献できるように頑張ります。4年間活動を続け、本当に良かったです。(YS)

今回もビブリオバトル等の活動に参加しましたが、その中でも、直木賞作家である今村翔吾さんとのトークセッションが特に印象に残りました。今村さんから学んだ何事にも挑戦する姿勢を今後の学生生活にも活かしていきたいです。(SN)

記事を書かせていただくのは2回目になるのですが、一番好きな作家である乙一さんの本を紹介できて良かったです。今回紹介した本の他にもお勧めしたい本がたくさんあるので、また機会があれば紹介したいと思います!(CU)

私が図書館サポーターに入ってからもうすぐ1年になります。去年はコロナの影響でなかなか思ったような活動はできませんでした。今年に入ってからはいくさんの経験ができました。残りの大学生活も少なくなってきましたので、悔いのないように頑張ります!(MU)

私は今回初めて図書館報に携わらせていただきました。新書は読みにくいと思われるかもしれませんが、この本をきっかけに新書への興味を持っていただくと嬉しいです。大学生活はまだまだオンラインの授業も多いかと思いますが、おうち時間に本を読むのはどうでしょうか。きっと皆さんの大学生活が豊かになると思います。(MT)



大阪経済大学図書館

2022年10月1日発行

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2丁目2-8
Tel.06-6328-2431 (代表) <https://www.osaka-ue.ac.jp/research/library/>

